



■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「身を守る行動」を学ぼう	
ねらい (学習目標)	1. 地震で起きる危険を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を知る。 2. 緊急地震速報を聞いて、様々な場所で身を守る行動を先生と一緒にとれる。	
対象学年	小学部低学年	
教科・イベント等	事前学習（総合的な学習・特別活動）	
学習形態	全員（授業）・グループ	計45分
準備	授業用スライド（低学年用）、大型ディスプレイ、ノートパソコン、パワーポイント、段ボール製のロッカー、訓練用音源（※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照）など	

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）
導入（5分）	
1. 地震と緊急地震速報	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場所で地震が起きたときの危険ポイントを知る。 ・緊急地震速報を聞いたときの身を守る行動について知る。 ・実際に身を守る行動を取ろう。 <p>※パワーポイントに活動内容を提示し、本時の見通しがもてるようにする。 ※地震に対する恐怖心を軽減するような言葉掛けを行う。</p>
展開1（30分）	
2. 地震の際の三つの危険「物が落ちてくる・倒れる・動く」を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きるとどのような被害が出るかを知る。 <p>（教室、廊下、階段、体育館、図書室、トイレ） ※地震の被害を分かりやすくするため、地震前と地震後の写真や動画を見せる。 ※大地震が起きると建物などが崩れたり、立ってられないほどの大きな揺れが起こることを理解させる。 ※段ボール製のロッカー当を使い「①物が落ちる②物が倒れる③物が動く」を理解させる。</p>
3. 地震が起きたときの行動について知る	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報のチャイム音について知る。 <p>※地震が来ることを事前に知らせてくれる音があることを理解させる。 ※チャイム音を聞いたことがあるかどうか尋ねる。 ※緊急地震速報の音を2種類（NHKチャイム音、携帯電話）流す。 ※音に対して配慮が必要な児童には、音量を小さくして聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの危険を理解して、教室にいたときの身の守り方を知る。 <p>※教室にいるときの身の守り方をまず理解させる。 ※スライドや副教材「頭だね」動画を見て身を守る行動を理解させる。</p>
4. 身を守る行動を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・机がない状態での身の守り方を知る。 ・「だんごむし」のポーズを知る。 <p>※近くに机がないときには、その場で頭を守ることを強調する。</p>
まとめ（1分）	
5. 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用スライドにより学習を振り返る。 ・教室にいたときの身を守る行動を復習する。 <p>※地震が起きた時の危険なことを確認する。 ※地震はいつ起きるか分からないことを伝え、緊急地震速報を聞いたときや強い揺れが襲ってきたときには机の下にもぐる、机にもぐれないときは、その場で「だんごむし」のポーズを取ることを伝える。</p>



■評価ポイント

- | |
|--|
| 1 緊急地震速報のチャイム音を理解しているか |
| 2 強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはならないかを理解しているか |
| 3 自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか |

■特記事項

- | |
|---|
| ・効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する |
|---|

【緊急地震速報チャイム音入手方法】

- ・「緊急地震速報の受信時の報知音の音源提供について」緊急地震速報利用者協議会
http://www.eewrk.org/eewrk_hochi-on/eewrk_hochi-on.html
- ・「緊急地震速報の入手方法について」気象庁
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/katsuyou/receive.html>